

番 号 1

平成23年12月 1日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 14番 伊藤 邦彦

		平成23年12月 1日 午前10時45分 受領
発言通告書	発言の種別	一般質問
発言の要旨		備考
<p>○ 新庁舎建設よりも市民の暮らしを・・・ 一体型庁舎を2019年まで完成させたいとしているが、新築か増改築かは、これからの議論であろう。 しかし、市の地方債残高が実に400億超・・・市民生活も農工商、全ての分野で困窮している。市民が将来の仙北市に不安を感じている。市民あつての市役所である。 市民の暮らしに目を向け、生活を安定させる、市政をあずかる長として、それが今最も必要な事と思うが・・・</p> <p>○ 旧「西木総合G」について問う 合併前「西木総合G」は、総事業費6億7千万、観覧席・電光スコアボード・全天候型テニスコート等備えた村民のコミュニティ広場としての計画であった。 今、完成をみた、西明寺中学校球場は、総事業費は総合Gの1/3にも満たない。 合併しなければできたものを・・・と関係者、地域住民の落胆は大きい。 年次計画でよし、当初計画に少しでも近づけ、行政と住民との信頼回復を図るべき。</p> <p>○ 学校統合と市役所位置 合併前、西木地区2つの中学校は、2011年まで統合する、としていた。その2校ともさらに生徒数の減少により、部活動も厳しくなってきた。</p>		

生徒達の生涯の思い出づくりは、中学校時代と思える。友と共に  
勉学にはげみ、共に汗を流す・・・

その環境をつくる。それが市当局そして我々の責務と思う。

合わせて、桧木内中、西明寺中、神代中、3校統合はどうか。学  
校規模も、地理的にも、旧三ヶ町村に各1校・・・ベストと思う。

神代中の校舎は、仙北市のヘソ、中心として、市役所として活用  
する。

それぞれの思い万感を排し、未来に向かうべき。

#### ○ 温水プールについて

バイオ発電によせる期待は大きい。順調に稼動する事になれば建  
設は期待できるのか。

温泉療養の健康づくり、四季を通しての活用に向け、住民、各学  
校の期待は大きい。

#### ○ 西木温泉クリオンの業務体勢について問う

- ・賃金の不払いはないか。
- ・社員の業務が、残業時間、休日日数等、就業規則にそくしている  
か。
- ・社員の入れ替えが多いと思うが、その原因は。
- ・体調をくずす社員が多いと聞くが、仕事との因果関係はあるのか。

上記の通り通告します。

番 号 2

平成23年12月 1日

仙北市議会議員 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 17番 田 口 喜 義

		平成23年12月 1日 午前11時30分 受領	
発言通告書	発言の種別	一般質問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p><b>1. マグニチュード9規模の地震や駒ヶ岳の噴火等が発生した場合、仙北市はどうなるのか</b></p> <p>(1) 市民へ何をもって確実に伝えることができるのか？ (2) 市民はどこへ、どのようにして逃げる(避難する)のか？ (3) 誘導の方法はどうするのか？</p> <p><b>2. 市立角館総合病院の建設について</b></p> <p>(1) 建設にあたり、どういう医療をするのか？どういう病院にするのか？ (2) 現在、角館病院の地域別の利用状況はどうなっているのか？ (3) 病院建設場所の決定にあたって、何を最重要に考えるのか？ (4) いつ頃まで決定するのか？その流れは？ (5) 病院の建設費用はどれくらいか？必要な用地面積は？ (6) 建設によって仙北市の医療体系は、現在と同様なのか？それとも見直しはあるのか？ (7) 自治体病院の収支について、赤字でも良いのか？(経営の考え方は？) (8) 病院自前の職員採用はできるのか？(事務、管理職員) (9) 救急や夜間診療(休日)も含め、民間病院との連携は進んでいるのか？</p>			
上記の通り通告します。			

番 号 3

平成23年12月 1日

仙北市議会議員 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 6番 田 口 寿 宜

		平成23年12月 1日 午前11時46分 受領
発言通告書	発言の種別	一般質問
発言の要旨		備考
<p>～市長の政治姿勢～</p> <p>門脇市政が始動してから早いもので2年が過ぎた。外交面では華々しい活躍を見せ、評価すべき点はあるが、内政面ではいささか動きが鈍いように感じる。今こそ、地に足をしっかりと着け、仙北市発展の為に踏ん張る時が来ている。そこで次の事を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) これまでの反省点と今後の抱負</li><li>2) マニフェストに関する事</li><li>3) 「定住の循環」という言葉を耳にするが、それを実現する為のアクションは起こしているのか。</li><li>4) 熱意を持って何事にも取り組もうとする点は評価するが、時として、思いと行動がちぐはぐになっているように感じる。思いだけが先行すると、逆方向に進んでしまう危険性がある。熱い思いを形にする為には、短い時間の中でも緻密な計画が必要であると考えているがどうか。</li></ol> <p>～文化、子ども～</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○市民会館の今後について</li><li>○音楽活動をしている市内小中学校への楽器購入について</li><li>○携帯電話、インターネットの有害情報から子ども達を守る対策について</li></ul>		
上記の通り通告します。		

番 号 4

平成23年12月 1日

仙北市議会議員 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 1番 高橋 豪

		平成23年12月 1日 午前 8時30分 受領
発言通告書	発言の種別	一般質問
発言の要旨		備考
<p>市長マニフェストのこれまでについて</p> <p>門脇市長が就任して2年が経過した。9月定例会の一般質問において門脇市長は、マニフェスト検証については12月を1つの区切りとしてチェックしていく予定であることを述べられたが、今回はそれに先立ち、市長が公約として掲げている各種事項について、検証的意味合いを込めて質問する。</p> <p><b>1、マニフェスト全体をどう振り返るか</b></p> <p>市長公約に掲げた多岐にわたる事項について、これまでの2年間を振り返った総括を伺う。(良かった点・課題のある点・内容を変更しなければならない点など)</p> <p><b>2、マニフェストの主な項目について伺う</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 「所得10%UP」のこれまでと今後について</li><li>○ 「医療再生・福祉の充実」についてのこれまでと今後について</li><li>○ 「地域運営体と市民サポートセンター」のこれまでと今後について</li><li>○ 「行財政改革」のこれまでと今後について</li><li>○ 「次世代育成」のこれまでと今後について</li></ul> <p>※ 一問一答で伺いますのでよろしくお願い致します。</p>		
上記の通り通告します。		

番 号 5

平成23年12月 1日

仙北市議会議員 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 4番 平岡 裕 子

		平成23年12月 1日 午前11時45分 受領
発言通告書	発言の種別	一般質問
発言の要旨		備考
<p>1. 子育て支援と市立保育園・幼稚園の行方について</p> <p>① 幼稚園・保育園の在り方検討会について、2回の話し合い内容と今後の進め方について伺いたい。</p> <p>② 来年度予算に反映できる政策提案とあるが、どのようなことか。</p> <p>③ 今、政府では保育を市町村の実施義務から外そうとしているが、市民が願う子育て支援はどうなるのか。</p> <p>2. 介護保険について</p> <p>4月から介護保険法が改正となり、保険料・利用料の値上がりや要支援者への生活援助時間が短縮されることが予想されるが、市としての対応はどうなるのか。</p> <p>3. 国保税について</p> <p>24年度の加入者負担の見通しについて伺いたい。</p> <p>4. 市（旧町村）への寄贈品の扱いについて</p> <p>① 寄贈品の分類はどうなっているか。</p> <p>② それらの物はどのように扱われているか。</p>		
上記の通り通告します。		

仙北市議会議員 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 2番 熊谷 一 夫

		平成23年12月 1日 午前 9時45分 受領
発言通告書	発言の種別	一般質問
発言の要旨		備考
<p>◎行財政改革について</p> <p>第2次行政改革大綱の3、自主財源の確保、取組み項目の3-1市税・使用料等の収納率向上と3-2滞納対策強化による収能率向上について伺う。</p> <p>平成22年度決算で、一般会計・特別会計における収入未済額（未収金）と不納欠損の額を合わせると10億2千6百万円とついに10億円を超えた。公営企業分を合算すると11億2千5百万となっている。年々増加していくこの現状を踏まえて以下の事を伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大事な自主財源である市税や国保税の収入未済額及び不納欠損額についての市長の所感と今後の対策について伺いたい？</li> <li>2. 「地方税法上、最近は5年ではなく最短の3年で不納欠損処理が行われるのが主流となっている」との税務課長の決算委員会での答弁であったが、今後の市の方針か？これが導入されれば不納欠損額がさらに大きい額になるがそれでも良しとする当局の方針か？</li> <li>3. 第2次行政改革大綱では滞納対策強化による収納率向上の数値目標が一般税10%国保税9%となっているがこの数値目標で収納率が上がるのか？</li> <li>4. 一例を挙げれば、一般会計187億8千万円のうち自主財源比率23%の43億1千7百万円、このうちの5億5千万円が市税と税外収入の未収金、3千3百万円が不納欠損額合わせて5億8千3百万円です。この財源があれば市として相応の事業計画ができると思うがどう考えているか？</li> <li>5. 収納対策室を税務課9名だけでなく関係部署にも設置して、粘り強く、持続性のある徴収強化策を講じたらどうか？</li> </ol>		

6. 行政改革の具体的な取組み項目 3 - 4 に遊休地等の売却・貸付推進とあるが、市の遊休地・遊休施設の有効活用について具体的に伺いたい？

- ① 「遊休資産の売却や貸付を積極的に推進し、財源の確保に努める。」とあるが、市の遊休地・遊休施設の売却・貸付・利活用の最近の現状（物件数、金額）を伺う？
- ② 市有地や市の遊休施設を民間企業への貸付け、売却、介護施設等への利活用を今後どのように推進していくのか伺う？
- ③ 積極的に民間に働きかけ、民間需要に応じていく体制作りをしたらどうか？

#### ◎高齢化社会への対策について

2010年度国勢調査によると、秋田県の高齢化率は29.5%と島根県を抜きトップになりました。人口減少率も全国最高となりました。本市高齢化率も33.6%と少子高齢化に歯止めがかからない状況です。2030年には、本市の人口が25,000人台になる事も予測され、高齢化率も40%台になる予測である。今後の高齢化社会への対策について市当局の考えを伺う？

1. 定期バスがなくなり、高齢者が病院、買い物等生活を支える移動手段がどんどんなくなっている。車を運転できない高齢者（交通弱者）独居老人増加への対策はどうなっているのか？
2. 医療、介護支援、居宅介護サービス等の現状と今後の対策は？
3. 冬季間の除雪対策、緊急通報システム、治安対策は？
4. PPK（ぴんぴんころり）対策として、健康医療（介護にならない医療）高齢者が元気で健康に生き生きと安心して暮らせる為の今後の取組みは？
5. 限界集落が増えていく中で、地域のコミュニティー作りと運営をどう支えていくのか伺う？

#### ◎空き家対策について

市内にある老朽空き家は、防犯・防災・衛生上深刻な問題になっている。夏季にはへび、ねずみ、ハチなどの生息場所となり、冬季間、雪下ろしや除排雪がなされない為、隣接者や地域から「雪が積もったままで危険」なので何とかして欲しいとの相談が寄せられた。そこで、空き家対策について伺う。

1. 大仙市、横手市の両市では、12月議会に空き家の所有者に雪

下ろしや建物の解体を勧告できることを盛り込んだ「空き家条例」を制定する記事が載っていたが、当市での「空き家対策」に対する現状と今後の対策について伺う？

2. 全国的にも所有者に勧告・公表して応じない場合は、解体費用の一部を市が助成する制度や条例を設置して対応している自治体が多いがその考えはないか？

上記の通り通告します。

番 号 7

平成23年12月 1日

仙北市議会議員 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 16番 八 柳 良太郎

		平成23年12月 1日 午前10時15分 受領
発言通告書	発言の種別	一般質問
発言の要旨		備考
<p>安心安全で暮らしよい豊かな仙北市をめざして</p> <p>I 市民生活を災害からどのように守るのか</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 種々の自然災害の今後の予測について</li><li>2. ここ数年、各々の自然災害の被害状況について</li><li>3. 東日本大震災後、各地で豪雨、地すべり、なだれが頻発しているが本市の対策は。震源地が秋田県内陸南部地震は大丈夫か。</li><li>4. 22年度の降雨量は、角館地区は53年以降最大であり、田沢湖地区は史上2番目に多い。今年度以降の予測について集中豪雨被害を受けた市民の暮らしをどう守る。</li><li>5. 今後の課題は何か。</li></ol> <p>II 豊かな市民生活の為に</p> <p>市長のマニフェストである所得10%アップについて 総合産業研究所について</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 仙北市の農林水産物の奨励品種の現況について 県奨励品目4品目と市の14奨励品目の販売実績</li><li>2. 新規の商品開発について。地域運営体との打合わせは</li><li>3. 生産直売所の現況。地産地食マッチングについて</li><li>4. 新エネルギーの利用促進の実績は</li><li>5. 温暖化抑止に貢献する電気自動車について</li><li>6. 所得アップの戦略目標は</li></ol>		
上記のとおり通告します。		